

介護老人保健施設

老健ホームいしかわ

# きらめき



入所者様の作品

## 『能登復興支援のための閑話休題』

能登半島地震では約1600人の入院患者や高齢施設入所者が金沢市などに緊急避難したという。それから1年あまり過ぎたが、当施設にも能登に帰れない入所者がおり、速やかな復興を祈っている。能登にはあえのことやキリコ祭りなど古い伝統文化が今でも残っている。私はあばれ祭りを初めて見た時の印象から「キリコの起源はハシゴ」ではないかと考えてきた。その傍証をいくつか記してみたい。まず、万葉集の能登国に『梯立の熊来のやらに新羅斧落とし入れ・・・以下略』の歌がある。「熊来のやら」とは、現在の七尾市中島町にある熊木川の河口で、梯立（はしたて）は能登にかかる枕詞である。加賀市にも橋立町があり、丹後の天橋立は天上と地界をつなぐ梯子が神が寝ている間に倒れたものだという。次に、縄文真脇の環状木柱列は祭祀の場で神が降臨するハシラだという説がある。ハシラやハシゴは橋と関係のある言葉で、神を招来するものである。さらに、中国の甲骨文字の漢字文化研究によって、神が降る卩の形はハシゴであることが分かっている。「キリコ祭りは江戸時代に遡る」とあるが、万葉集にみえる梯立はもっと古く、能登の里山で人々が梯や斧を使って栗や柿をとったり、夏祭りに「梯ヲ立」てて笹で飾り、神の遊出を願ったのがキリコの起源ではないだろうか。能登半島地震や豪雨災害からの復興にはインフラ復旧工事はもちろん重要だが、被災者の願いは時間とともに人々に忘却されたくないことだろう。そのためには、能登の伝統文化に興味をもち、それを守ってきた能登のひとびとに寄り添うことが大切だと私は思う。

施設長 吉本 谷博



# 老健のリハビリをご紹介します

老健ホームいしかわでは、入所者様のご状態に合わせた理学療法・作業療法のほか、趣味や生活歴をお聞きし書字や園芸療法・回想法などにも取り組んでおります。





# 老健ホームいしかわ 歳時記

一年を通じて四季の移り変わりが感じられるような催しを企画しております。  
入所様が笑顔でいられるひとときを大切にしていきたいと思ひます。

## 梅の収穫

大きく実った梅を手になれ、  
季節の移ろいを感じられていました。



## 運動会

玉入れやボール回しで競い合いました。  
最後は金メダルが授与されました。



## 広岡こども園交流会

かわいらしい園児の仕草に手を上げて応えていました。



## 節分

鬼に向けて上手に豆（丸めた新聞紙）を当てていました。



## 一日喫茶

おやつや飲み物をメニュー表から選び、ご満悦の表情でした。

